

機械工学委員会分科会の設置について

分科会等名：ロボット学分科会

1	所属委員会名	機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	誕生以来約50年、日本では主に機械工学の分野で、欧米では主に計算機科学や電気工学の分野で成長してきたロボットは、未来社会の中で人間と共存し人々の暮らしを支える生活パートナー的な存在へ進化し、新しい産業の創成に資することが期待されている。 一方、東日本大震災において、ロボット技術に対する国民的期待が高かったにも拘わらず、社会技術としてのロボット学の成熟の遅れが指摘されたことも事実である。 ロボットに関する学術は、従来の理工学の枠を超えて、脳科学、人間科学、社会科学を含む幅広い総合科学として発展していくことが必要である。本分科会は機械工学の分科会として設置するが、情報工学、電子工学、総合工学、健康・生活科学などの関連分野との連携のもとに、人間、社会、文化まで視野を広げて、分野横断的な総合科学としてのロボット学について幅広く議論し、その学術的枠組および解決すべき問題や方向について整理することを目指す。
4	審議事項	1. 国内外関連学会等の動向、情報交換、連携促進の方策 2. ロボット学の教育・研究体制の現状と課題 3. 研究開発から実用化に至る過程での検討事項 4. 社会的課題の解決と価値創造のためのロボット学に係る審議に関すること。
5	設置期間	令和2年10月29日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期より継続